

日興・CS世界高配当株式ファンド (毎月分配型)

[ファンドの概要]

設定日 : 2005年2月15日

決算日 : 原則毎月18日 (休業日の場合は翌営業日)

償還日 : 無期限

収益分配 : 決算日毎

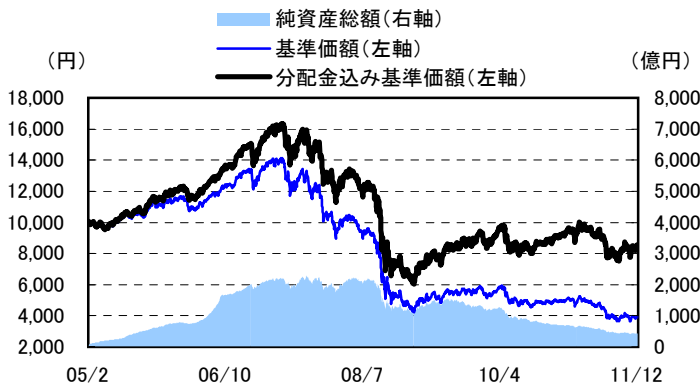
[ファンドの特色]

1. 世界各国の配当利回りの高い企業の株式を中心に投資します。
2. 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。
3. クレディ・スイスが運用を担当します。



運用実績

< 基準価額の推移グラフ >



分配金込み基準価額は、当ファンドに分配実績があった場合に、当該分配金 (税引前) を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。
基準価額は、信託報酬 (年率1.155% (税抜1.1%)) 控除後の値です。

< 分配金実績 (税引前) >

決算期	決算日	分配金	基準価額
設定来	---	5,675円	---
直近12期計	---	720円	---
第72期	2011/1/18	60円	4,929円
第73期	2011/2/18	60円	5,123円
第74期	2011/3/18	60円	4,716円
第75期	2011/4/18	60円	5,019円
第76期	2011/5/18	60円	4,863円
第77期	2011/6/20	60円	4,577円
第78期	2011/7/19	60円	4,441円
第79期	2011/8/18	60円	4,000円
第80期	2011/9/20	60円	3,825円
第81期	2011/10/18	60円	3,878円
第82期	2011/11/18	60円	3,816円
第83期	2011/12/19	60円	3,811円

当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額 : 3,923円

純資産総額 : 429.55億円

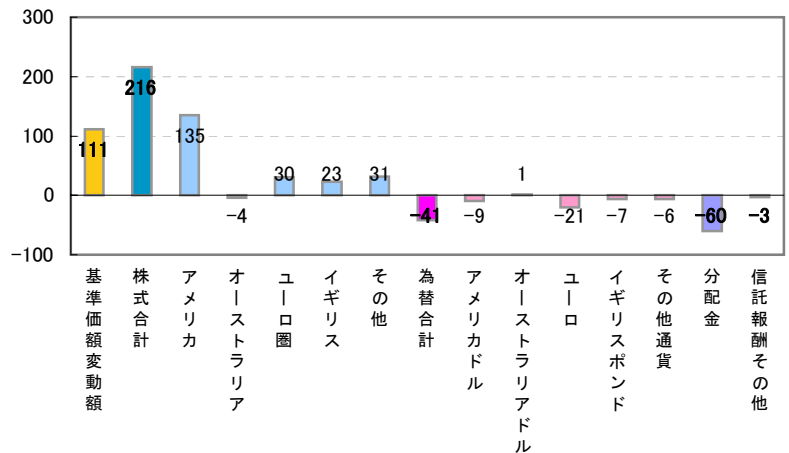
為替ヘッジ : 原則として為替ヘッジは行ないません。

< 基準価額の騰落率 >

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
4.53%	8.62%	-8.84%	-5.38%	16.31%	-14.89%

基準価額の騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、当該分配金 (税引前) を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

< 基準価額騰落の要因分解 (月次) >



上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

投資信託は、値動きのある資産 (外貨建資産は為替変動リスクもあります。) を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

日興・CS世界高配当株式ファンド
(毎月分配型)

ポートフォリオの内容

<資産構成比>

国内株式	4.5%
うち先物	0.0%
外国株式	92.9%
うち先物	0.0%
CB	0.0%
公社債	0.0%
現金その他	2.5%

マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。

<株式組入上位10カ国>

	国名	比率
1	アメリカ	48.6%
2	イギリス	11.3%
3	カナダ	5.3%
4	フランス	4.6%
5	日本	4.6%
6	オーストラリア	4.4%
7	ドイツ	3.7%
8	スイス	2.8%
9	シンガポール	2.8%
10	イタリア	2.2%

マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。

<組入株式の予想配当利回り(年率換算)>

ファンド全体	3.03%	
地域別	アメリカ	3.37%
	イギリス	4.64%
	オーストラリア	6.11%
	ユーロ圏	5.00%
	その他	4.97%

上記予想配当利回りは、月末時点で組入れている各組入株式の予想配当利回りをマザーファンド全体、あるいは地域別で組入株式時価評価額のウェイトで加重平均したものです。投資対象国現地で支払う税金を控除しております。「ファンド全体」については、信託報酬(年率1.155%(税抜1.1%))を控除しています。上記はクレディ・スイスの予想であり、当ファンド及び組入株式の利回り、運用成果等について何ら約束をするものではありません。

<株式組入上位10銘柄>(銘柄数 99銘柄)

	銘柄	通貨	業種	比率
1	CHEVRON CORP	アメリカドル	エネルギー	2.91%
2	MICROSOFT CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.68%
3	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	アメリカドル	食品・飲料・タバコ	2.61%
4	ALTRIA GROUP INC	アメリカドル	食品・飲料・タバコ	2.19%
5	INTEL CORP	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	2.16%
6	PFIZER INC	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	2.15%
7	MICROCHIP TECHNOLOGY INC	アメリカドル	半導体・半導体製造装置	2.10%
8	MERCK & CO. INC.	アメリカドル	医薬品・バイオテクノロジー	2.00%
9	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	ユーロ	エネルギー	1.92%
10	BHP BILLITON PLC	イギリスポンド	素材	1.86%

マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。上記銘柄について、将来の組入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

日興・CS世界高配当株式ファンド
(毎月分配型)

運用コメント

当月の運用概況

米国株式市場は上昇しました。比較的好調な米国経済指標の発表が続き、米国景気への楽観視が株価を押し上げました。中旬は、欧州債務問題をめぐり投資家のリスク回避姿勢が強まったため弱含みましたが、後半は、欧州中央銀行(ECB)の施策に期待が膨らんだことや、順調な原油市況、住宅着工件数などの好調な米国経済指標が支援材料となり、米国株は上昇基調に転じました。欧州株式市場も総じて上昇しました。中旬は、欧州中央銀行(ECB)総裁の国債購入枠拡大の否定、複数の大手格付会社がEU諸国や域内金融機関等の格下げについて検討に入ったことなどで投資家に失望感が広がり、株価は軟調に推移しました。後半は、米国経済が成長軌道に乗り始めたとの観測から米国株が上昇に転じたことや、ドイツ企業の景況感が予想以上に底堅いこと、原油などの商品市況の上昇などから、欧州市場の株価も総じて上昇しました。

12月、我々はセクターアロケーションと戦略を共に変更しませんでした。これまでと同様に、配当利回りが魅力的な水準にある日本以外のパシフィック地域と、今後魅力的な配当が期待できる欧州に対して積極姿勢としています。

今後の運用方針

我々は、ユーロの財政危機問題に対するより信頼に足る解決策や、2012年の米国景気対策が明らかになるまで、株式市場へ“中立”の立場を維持します。2012年の株式市場の牽引役は、第1四半期後半までの各国金融当局による、新たな量的緩和政策と考えています。このような環境下では、魅力的な配当を有した高品質企業が魅力的な投資リターンを生み出すと期待しています。さらに、中央銀行が金融の引き締め政策を取りにくくなっている現在、配当利回りは相対的に債券利回りよりも魅力的で、高配当銘柄への投資環境が整ったと見ています。

セクター配分：当ファンドでは、現在個別セクターに対して若干傾けている程度にしており、電気通信サービス、公益事業などを積極姿勢とし、資本財、金融などを消極姿勢としています。

銘柄絞込み：当ファンドは世界の株式市場を対象に、配当の属性(配当水準、配当の伸び、妥当な配当性向)、株価収益率などの株価評価(バリュエーション)、収益の質、収益力と株価の傾向などで魅力的な銘柄を選び出します。そして、それらの銘柄の中から、株価が割安で、かつ株価の押し上げが期待できる特別な要因を備えた企業に投資します。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信 / 内外 / 株式
- お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 : 取得申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日、チューリッヒの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 【毎月分配型】無期限（2005年2月15日設定）
【資産成長型】2018年11月19日まで（2008年11月12日設定）
- 決算日 : 【毎月分配型】毎月18日（休業日の場合は翌営業日）
【資産成長型】毎年11月18日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 : 【毎月分配型】
毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
【資産成長型】
毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日、チューリッヒの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
- <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>
- ・お申込手数料 : お申込手数料率（スイッチングの際のスイッチング手数料を含みます。）は、3.15%（税抜3%）を上限として販売会社が定める率とします。分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
 - ・換金手数料 : ありません。
 - ・信託財産留保額 : ありません。
- <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>
- ・信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.155%（税抜1.1%）を乗じて得た額
 - ・その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
- その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
- 投資顧問会社 : クレディ・スイス
- 受託会社 : みずほ信託銀行株式会社（再信託受託会社：資産管理サービス信託銀行株式会社）
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕<http://www.nikkoam.com/>
〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

流動性リスク

市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

信用リスク

投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資家の皆様に「日興・CS世界高配当株式ファンド（毎月分配型）/（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号			